

花子 (2001)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 60分

初公開日 2002/01/26

公開情報 シグロ

【解説】

夕食の残り物を皿やお盆に並べた“たべものアート”。このなんとも不可思議なアートを生み出した今村花子と彼女を暖かく見守る家族を描いた心暖まるドキュメンタリー。監督は力作「阿賀に生きる」で一躍日本を代表するドキュメンタリー作家の一人となった佐藤真。

京都府の南端、大山崎町に暮らす今村花子。重度の障害を持つ彼女は、夕食の残り物を皿やお盆に並べた“たべものアート”の作家でもある。このユニークなアートの発見者である母・知左は、6年に渡って花子の“作品”を写真に撮り続けてきた。一方、定年退職したばかりの父・泰信は花子のアートを未だに“汚い残飯”としか思えない。そして、家を出る決意を固めた姉・桃子が語る花子との確執。そんな今村家は重度の障害者を抱えながら各人バラバラ勝手気ままに生き、それでいて互いに心から思いやる家族だった。そこには不幸を不幸と決めつけることなく喜びにさえ反転させてしまう力が秘められていた。

【クレジット】

監督 佐藤真

製作 山上徹二郎

撮影 大津幸四郎

編集 秦岳志

編集協力 青山昌文

録音 弦巻裕

出演 今村花子

今村泰信 (父)

今村知左 (母)

今村桃子 (姉)